

国内外で活躍しているCCCのHUB登録クリエイターが、それぞれの世界をエッセー形式でレポートしています。

未来をデザインする

CCCクリエイター 富山達章

コロナ禍によって、世の中が大きく変化しています。DXなどデジタル技術の社会実装が加速したり、SDGs、サーキュラーエコノミー（循環経済）の意識が高まっている中で、企業や地域の活動の先行きに不安を感じたり、模索も始まったりしています。

デザインの分野では、アドバンスデザイン（先行デザイン）という、10年後、20年後の未来をデザインする分野がありますが、一時、iPhoneなどをはじめとする破壊的イノベーションが起こる中で、技術や環境の成長カーブの延長線を想像しながらデザインをおこなうアドバンスデザインって意味ないよね…という話題になったりもしていました。しかし今、未来に向けた事業づくりとしてアドバンスデザインのあり方も変化し重要性も高まっているように感じています。

コロナ禍で、地方のあり方が注目されたり、インターネットの活用によっても、中央と地域の距離感を感じなくなっていますが、違う視点から見ると、中央と地方、大手と中小が比べやすくなっているとも言えます。そして、地域の企業や地域が輝き、活躍するためには、「クオリティー」がキーワードと思っています。これは、ものづくりのクオリティーだけでなく、ビジネス全体のクオリティー、その中でも未来を創造するクオリティー（クリエイティビティ）が重要になってきていると思います。

「未来をデザインする」具体的にでなく、イメージしづらいことかもしれないのですが、中小企業も研究開発やアドバンスデザ

インをおこなうという考え方を、今という時代だからこそ推進する必要があるのではと感じています。

実際に、実行している企業もあります。とある中小企業A社は、サーキュラーエコノミーに対応した研究開発をスタートさせリサーチからはじめたところ、1ヶ月後には、他の企業と共同研究が始まり、新しい技術を開発しながら社会実装するためのデザインをおこなっているという事例もあります。「未来」というと遠い先の夢物語のように感じるかもしれませんが、今という時代だからこそ、本格的に「未来をデザイン」してみる活動も必要かもしれませんね。

Tatsuaki Tomiyama



富山 達章（とみやま・たつあき）

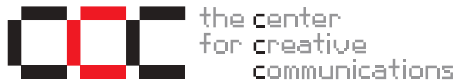
コンセプトディレクター。インタープランニング有限公司 代表取締役。1999年にフリーのマーケティングプランナーとして独立。"静岡発！ランデヴープロジェクト（2004年～）"では、地場産業とアーティストのコーディネーターを務める。また、2006年にはJAPANブランド育成支援事業にて今治タオル産地のブランド戦略構築をおこなう。マーケティングとデザインという視点で、新規事業開発のサポート、マーケティング戦略・ブランド開発・商品開発などをおこなう。



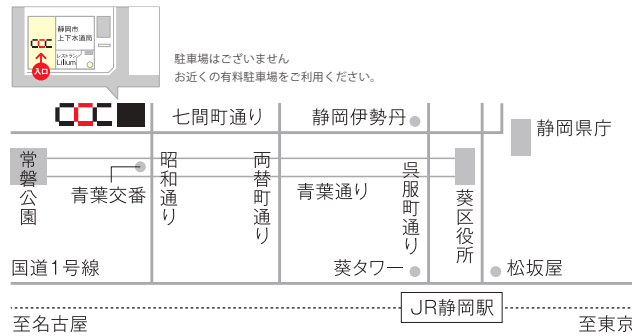
フィンランドの小学校の給食の風景。給食はお腹を満たすだけでなく、授業から離れたコミュニケーションや場をつくっているような…ここでも何か未来を感じました。（富山）

お問い合わせは、お電話またはEメールにて
 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター
 〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1 TEL.054-205-4750 FAX.054-260-4550
 info@c-c-c.or.jp https://www.c-c-c.or.jp/
 開館時間／午前10時～午後9時
 休館日／毎週月曜日および12月29日～1月3日 ※月曜日が祝日の場合、翌日以降の最初の休日以外の日

クリエイティブを、育む、活かす、魅せる。



ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
 ■JR静岡駅より徒歩約14分 ■静鉄新静岡駅より徒歩約13分
 ■静鉄ジャストライン「県庁・静岡市役所葵区役所前」停留所より徒歩約8分、「七間町」停留所より徒歩約2分



Instagram



Homepage

七間町通りにCCCフラッグが設置されました！

クリエイティブな
自分時間の楽しみ方を提案します！

6/25～7/24 静岡のすごい技、見せます。
自分時間を楽しむアート・ホビー・クラフト展

静岡の「ものづくり」に焦点を当てた「静岡のすごい技、見せます。」シリーズ4回目となる本展では、特にクリエイティブの観点から模型・クラフト・アート・園芸・ペット関連などの分野で特色あるものづくりをしているメーカー11社を取り上げ、パネルと実物展示で紹介し、またクリエイターたちのコラボレーション作品なども見どころです。自分時間を大切に、その過ごし方を再認識することに注目が集まる今、ものづくりを通じて様々な楽しみ方を提案します。

〈出展メーカー〉葵サンプル・アオイネオン・ウッドジョー・おしゃれ盆栽工房ほたるふる・開発紙業・栗田産業（しずおか鋳物重太郎）・ココロハナ・文具館コバヤシ・スタジオユウワ・人形のみやひで・moca project

〈出展クリエイター〉紅林広子（カリグラファー）・鈴木千晶（イラストレーター）・憂有（イラストレーター）

静岡発!NFTアーティストによる仮想と現実の世界。
8/5～9/4 NY_ Solo Exhibition

最新のメディアアートを体感できる静岡在住のNY氏によるNFTアートの展覧会。デジタル彫刻という独自の世界観を築く中で、NFTという新しい領域で急激に広がり、現在では国内外でも作品が発表されるまでに至っています。今回の展覧会では「NY_ Solo Exhibition」と題し、NY氏のデジタル彫刻や、最新のNFTアートを展示すると同時に、展示会場の壁や天井、床にまで映像が広がるような没入感も体験できるかも！



公募展第二弾はこの2組！次回もお楽しみに。
9/11～10/10 公募展入選者展覧会

第二弾は池田ひとみさんによる系で成形した彫刻やインスタレーション作品が並ぶ「毛系模写」と、笹埜八郎さんによる野菜の無人販売をテーマにした絵画や立体作品が並ぶ「無人販売と野菜たち」を開催します。お楽しみに！



1F 池田ひとみ個展「毛系模写」

2F 笹埜八郎個展「無人販売と野菜たち」



すごい技展
QRコード

01 4/3～4/29 春をテーマにHUBクリエイター12人と 詩人たいいりょう氏がコラボレーション。

「春を彩るクリエーション」と題して、たいいりょう氏の12編の詩をイメージした様々なジャンルのクリエイターによる作品を一堂に展示しました。現代アート作品をはじめ、絵画、ペーパープロダクト、立体クラフト、書、ステンドグラス、ロックパランシング作品までオリジナリティあふれる作品たちで彩られました。併催企画として子ども達の詩と絵の作品を募集し、97作品が寄せられて壁面を飾り、大きな富士山が誕生しました。



入り口付近に設置された詩のパネル



ギャラリートークの様子

02 5/4～5/5 大人から子どもまで“ものづくり”を楽しむ ワークショップイベント街カル in CCC 開催。

ゴールデンウィークの5月4日(水・祝)・5日(木・祝)の2日間、「街カル in CCC 春のものづくりワークショップ」を開催、多くの子どもたちや親子連れ、ご家族にご参加いただきました。講師の丁寧な指導で初めて体験するワークショップに皆、集中して時間を忘れて過ごしました。出来上がった作品の写真を撮ったり、見せあったりと大満足のイベントとなりました。



色とりどりのプリザーブドフラワー



紐を入れる工程に苦戦！

03 5/14～6/12 CCC公募展 NEXTクリエイター・キャッチアップ 2022 入選者展覧会 第一弾開催！

1F 富田貴智「環境は遊びと学びの実験室」

地元を愛するクリエイターとして富士宮で活動している富田貴智さん。今回の展示では「回る」をテーマとしたインスタレーション作品や、オクシズ材(ヒノキ)に描いたイラストなど約20点がギャラリーに展示されました。特に目を引くインスタントマニ車はマニ車を回すという行為を風圧によって回るピンポン球で表現した作品で、ささやかな平和を祈り制作したといいます。週末はワークショップも行われ親子連れのお客様が賑わいました。



富田貴智さん

2F 磯崎えり奈「浮かぶ風景」

大学講師をしながら金属や粘土、石を使った制作活動を行う美術家の磯崎えり奈さん。今回は「日常」をテーマに、生活の中に見る風景や記憶からの形や色を空間に再構成した展示で、新作のインスタレーション作品6点がギャラリーに並びました。展覧会初日はアーティストトークを行い、20年間の創作活動を振り返りながら表現方法がどう変化したのかや、創作の哲学・思考は現在どのような状態なのかなどについて、お話をいただきました。



磯崎えり奈さん

PERFORMING ARTS DIALOGUES

パフォーミングアーツ
ダイアログス



伝統芸能の吟剣詩舞道家の横室真弥さん



一輪車パフォーマーの山本夏夢さん

CCCでは静岡市の5大構想のひとつ「まち劇場」を踏まえ、パフォーミングアーツと表現者のより良い環境づくりを考える対話型イベント「パフォーミングアーツ・ダイアログス」をコロナ感染症拡大を機に開始しました。3年目を迎えた本年度は「複業パフォーマー」に焦点を当てて対話を深めます。5月28日に開催した1回目は、伝統芸能の吟剣詩舞道家の横室真弥さんと一輪車パフォーマーの山本夏夢さんに登壇頂きました。ともに他に仕事を持ちながらプロパフォーマーとして活動しています。横室さんはパートタイムで販売員を、山本さんは正社員としてフルタイムで勤務。二人が複業というスタイルを選んでいる理由は、経済的な選択よりもパフォーマーとしてのキャリアを明確に描けないことへの躊躇いがあるといいます。日本はパフォーマーのキャリア形成のモデルケースが少なく、あるいはごく一部に限られ、各自が手探りでサバイブしている状態です。幼い頃から親しみ、学生時代は練習に励みながらも、就職とともにそのキャリアを終える人も多いといいます。これでは才能も埋もれてしまいますし、何よりも本人に悔いを残すのではないのでしょうか。では就職しても充実した創作活動を続けるためには、社会に対してどのような働きかけが必要になるか。あるいは会社の求めることとどう折り合いをつけて行くか。他にも多くの論点が充実した対話によって明確になりました。ここでは文字数に限りがあるため、全てをお伝えできませんが、詳しい内容は準備が整った次第CCCのFacebookに掲載します。ぜひお読みください。



CCC facebook

次世代に向けた参加型演劇創作プロジェクト
ブレイクビーツ音楽劇

わが星 Our Planet

■脚本 柴幸男(ままと)
■演出 佐藤剛史(伽藍博物館)
■ムーブメント指導 秋山実優(Dance Unit Tlam)
■日程 2022年9月3日(土)、4日(日) 全2公演
■会場 MIRAIEリアン コミュニティホール七間町(静岡市葵区七間町12-4)

静岡市のパフォーミングアーツ振興を担うCCCは、これからの静岡を創る次世代に向けた参加型演劇創作プロジェクトに取り組みます。演劇を通じて身体表現の楽しさや奥深さを体験しながら、皆で学び合い協働しひとつの舞台を創り上げていきます。対象年齢は13歳(中学生)から22歳(大学生)まで。ダンスは必修科目となり親しまれるようになりましたが、演劇はまだマイナーな存在です。そもそも取り組める場所も限られているのが現状でしょう。しかし静岡市は演劇都市とも呼べるほど、全国でも演劇が盛んな土地。世界的に有名なSPAC-静岡県舞台芸術センターの本拠地であり、市民劇団も多く多彩な舞台を上演しています。また静岡市の「まち劇場」政策もあり、パフォーミングアーツを担う人材の育成も求められています。そのような状況に対応するべく、演劇に関わりたい学生の受け皿を作り、静岡のパフォーミングアーツを盛り上げる次世代演劇人を育てる事業が今回の創作演劇プロジェクトです。また昨今「地域部活」というコンセプトが目立っています。学校単位の部活動でさまざまな問題が表面化しその限界が指摘される中、部活を地域という単位で取り組む試みが始まっています。そのコンセプトに共感し、地域部活の拠点としてCCCが出来ることも探っていきます。

地元クリエイターのデータベース「クリエイターズHUB」 新CCC登録クリエイター紹介！



CCC HUB



伊藤慶
写真



のりしろ
グラフィック・イラスト



会津里花
音楽



難波意匠堂
グラフィック・イラスト



川合絢也
陶芸



鈴木しのぶ
WEBデザイン・グラフィック



山本薫夫
現代美術



磯崎えり奈
彫刻・インスタレーション



山本夕介
映像・イベント企画・WEB作成



すぎもとみらい
写真・映像



寺田貴詞
SNSマーケティング・写真・映像



富田貴智
イラスト・インスタレーション・現代のアート



牧野悠
SNSマーケティング



海野絵利奈
音楽・アート

CCCNEWSアーカイブを
ホームページに掲載中！

これまで2016年から発行してきたCCCNEWSをこちらのQRコードよりご覧いただけます！



CCC NEWS

7JUL.→9SEP. スケジュール

- すごい技、見せます。アート・ホビー・クラフト展 6月25日(土)～7月24日(日)
- NY_ Solo Exhibition..... 8月5日(金)～9月4日(日)
- CCC公募展入選者展覧会第二弾..... 9月11日(日)～10月10日(月・祝)
- 1F 池田ひとみ個展「毛糸模写」 2F 笹埜八郎個展「無人販売と野菜たち」

※予定は変更になる場合がございます。詳しいスケジュール、内容は順次HPでご案内します。